

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題ベンゼンチオールのみメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験試験番号

NMMP/E99/4060

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	:ベンゼンチオール
方式	:半止水式(24時間換水)
供試生物	:ヒメダカ ( <i>Oryzias latipes</i> )
試験濃度	:対照区、0.05mg/L、0.09mg/L、0.17mg/L、0.31mg/L、0.56mg/L および 1.00mg/L(設定濃度)
曝露期間	:96 時間
試験液量	:3.0L
生物数	:10 尾/濃度区
照明	:室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	:なし
温度	:24±1℃

結 果

試験の結果、ベンゼンチオールの実測濃度の幾何平均値に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は0.009mg/Lであり、その95%信頼区間は0.003~0.018mg/Lであった。